ハンドマイク街頭演説原稿例　８時間働けば普通に暮らせる社会を

２０１９年６月１日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間よろしくお願いします。

　いま、安倍自公政権の消費税増税に、「消費税増税などとんでもない」「売上げが減っている。増税など考えられない」など、怒りの声が広がっています。消費税増税など暴挙ではないでしょうか。くらしを守るため、「１０月からの増税は中止せよ」の一点で大同団結し、参院選で「増税ストップ」の審判をくだし、消費税増税を必ず止めようではありませんか。

　みなさん、一部大企業と富裕層ばかりが肥え太り、日本経済をダメにしたのがアベノミクスではないでしょうか。いまやるべきことは、家計を応援し、希望の持てる政治に切り変えることではないでしょうか。日本共産党は、消費税の増税は中止し、「暮らしに明日の希望を持てる―３つの提案」をよびかけています。それは、

　第一に、８時間働けば普通に暮らせる社会をつくることです。

第二に、年金、福祉・医療を充実し、暮らしをささえる社会保障を築くこと。

　第三は、大学学費の軽減、給付型奨学金の拡充、保育所増設などで、誰もがお金の心配なく学び、子育てができる社会をつくることです。

みなさん、この道でこそ、誰もが安心して、希望が持てるくらしが実現できるのではないでしょうか。

　多くのみなさんが、正規労働者も派遣やパートなど非正規労働者も、長時間労働や安い時給で、ふつうに暮らし、生活することが大変になっています。

みなさん、日本の働く人の給与・時給は、ＯＥＣＤ＝経済協力開発機構＝の調査では、過去２１年間に８％も減っています。同じ時期に、韓国では１・６倍に、イギリス、アメリカなどでは倍近くに増え、主要国で下がったのは日本だけです。本当にひどい扱いではないでしょうか。そのうえ、長時間労働は深刻で、過労死もなくなっていません。こうした時給・給与と長時間労働をただし、８時間働けば普通にくらせる社会にしていくことが求められているのではないでしょうか。

また、最低賃金は、ただちに１０００円に引き上げ、１５００円をめざし、全国一律最低賃金制を創設します。最低賃金の引き上げは、多くの女性や若者が働いているパートや非正規で働く労働者の大きな待遇改善になるでしょう。中小企業には賃上げ支援助成を抜本的に拡充します。

　残業時間の規制を強化し、長時間労働を是正し、非正規労働者の正社員化をすすめます。

　そして、保育や介護などの労働者は、国が給与水準を決め低く抑えています。これを国の責任でただちに５万円の賃上げを行い、さらに全産業平均との賃金格差をなくします。

　このような制度を実行すれば、８時間働けば、誰もがふつうに暮らせる社会をつくることができるではないでしょうか。日本共産党は全力でがんばります。ごいっしょに力を合わせましょう。

みなさん。いま、お話したのは３つの提案のひとつですが、３つの提案に必要な財源は七・五兆円です。財源は消費税に頼らず、すすめることができます。

みなさん、「暮らしに明日の希望が持てる社会」をめざし、力を合わせようではありませんか。

みなさん、共産党県民運動委員長の伊藤岳参院予定候補は、長時間労働をなくし、働く人の生活改善を求め、現場の声を大切に、要望活動などと頑張ってきました。働く人の声に向き合い頑張る伊藤岳予定候補へのご支援をお願いします。

みなさん、日本共産党は、７月の参議院選挙では日本共産党を大きく伸ばしてください。また、は伊藤岳参院予定候補へのご支援を、よろしくお願いします。

　来たる６月８日土曜日、午後２時から、大宮駅西口で、志位和夫委員長を弁士に、街頭演説を開催します。ぜひ足をお運びくださいますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての訴えを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。（了）